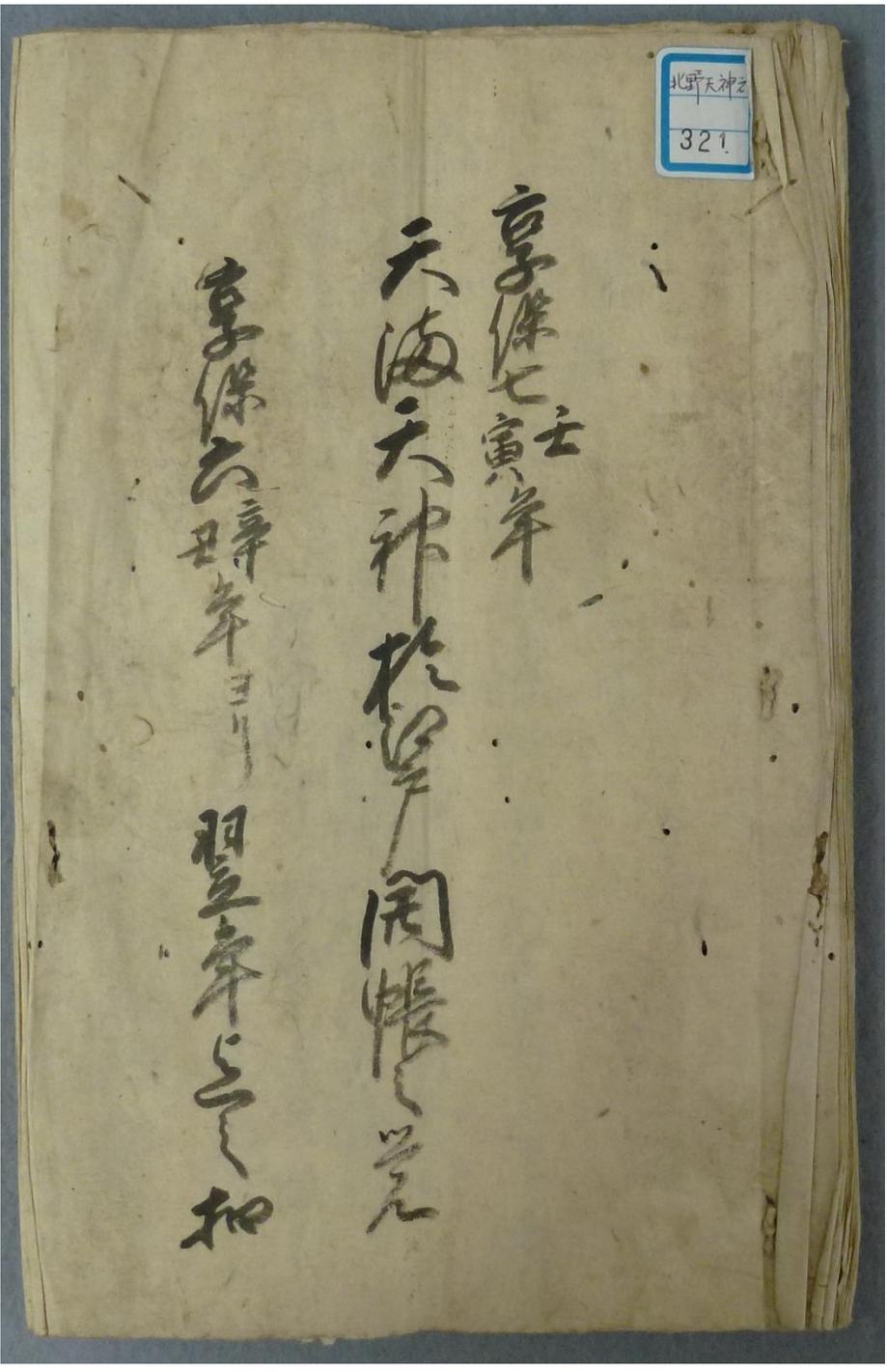


神社の開帳記録を読む

史料「天満天神於江戸開帳之覚控」【北野天神社文書No.781(部分)】

【表紙】

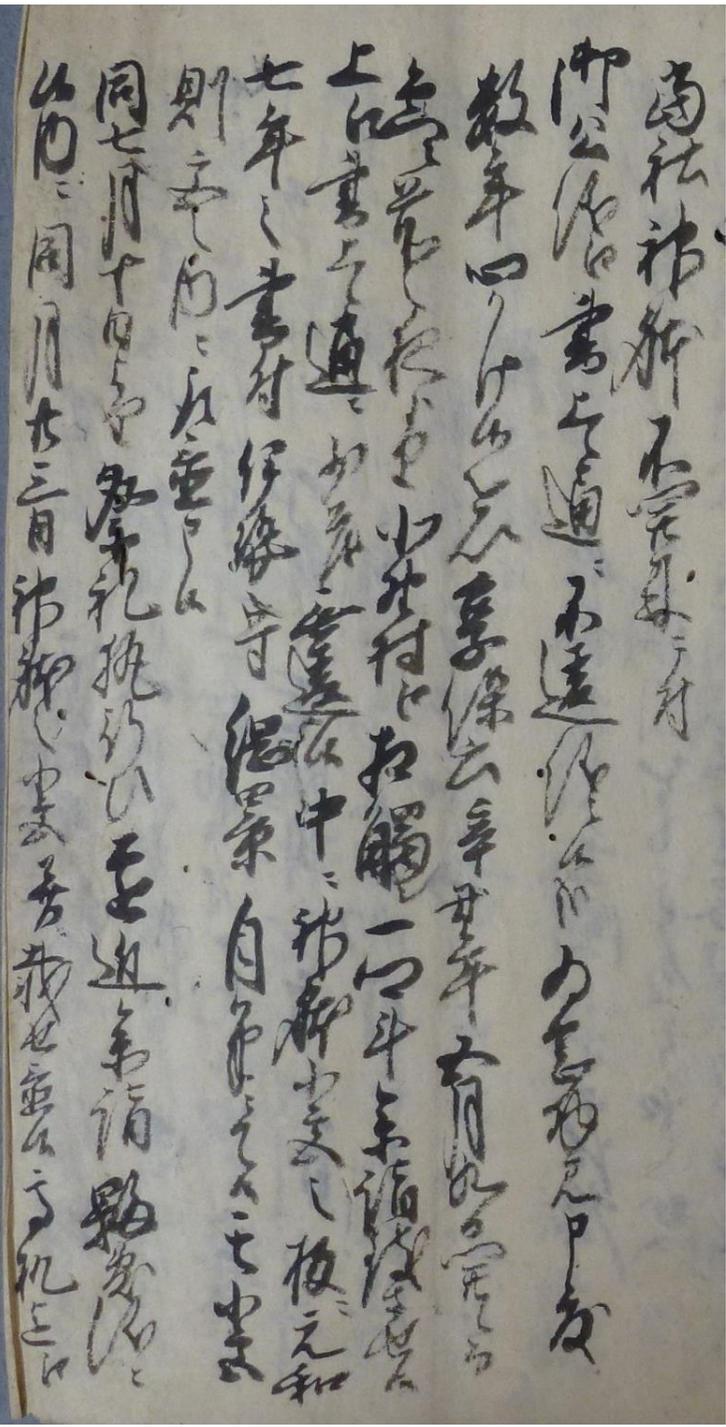


享保六辛酉年ヨリ 翌年迄之覚

享保七寅年

天海天神於江戸開帳之覚

【本文】





ゆきふら

一 寅月廿八日 祈新の旨は行かす事申すに及  
身社に申す事と申す事 并に直儀に申す  
事或は山川に申す事と申す事 お祈り申す  
事と申す事と申す事

二月廿八日

乃甲の格部申す事

少社天神 天帳と申す事 六字と申す事 二ツと申す事 先回と申す事  
少社天神の教を族に傳へて社家に申す事と申す事

法身家事と申す事と申す事

一 祈新と申す事 入白布と申す事 江連と申す事 本礼  
少社天神 祈新と申す事 六字と申す事 二ツと申す事  
返賜 何と申す事 招儀と申す事 何と申す事 何と申す事  
何と申す事 信子 孫を養へて教を傳へて 何と申す事  
何と申す事 教を 所を 麻上下と申す事 何と申す事

一 六の事 申す事 何と申す事 何と申す事 何と申す事 何と申す事  
二 何と申す事 何と申す事 何と申す事 何と申す事 何と申す事



一 月如院の由事奉座のゆけり地石後  
 借地之月人屋語七品者之支配行  
 益成之方中初任揮行法之品良  
 高吉よおお持事と承れ 高吉のちの御座  
 六所も御座るるま 高吉を礼日三下  
 高入方行より高吉高吉を三下  
 高吉を三下高吉を三下

一 官帳場之儀又町人お札と金也之  
 一 官帳場中百之金也

一 津事之動行は法田並に移衣共の時  
 庶事お者

一 高吉より及法を社法ありて  
 上より高吉より社法ありて

一 高吉より及法を社法ありて  
 上より高吉より社法ありて

一 高吉より及法を社法ありて  
 上より高吉より社法ありて

一 高吉より及法を社法ありて  
 上より高吉より社法ありて